

国際会議から 第9回構造ダイナミクスに関する国際会議 (EURODYN2014)

2014年6月30日から7月2日の3日間、EURODYN 2014がポルトガルのポルト大学で開催されました。この国際会議は、構造の動的問題全般を対象としたものです。その分野は橋りょう振動、地震、地盤振動、騒音、風、構造モニタリング、地盤と構造物の相互作用など多岐にわたります。今回は27のセッションに分かれ、合計502件の発表があり、ヨーロッパ各国をはじめとして、中国、アメリカ、ブラジル、日本など48か国からさまざまな分野の研究者が集まりました。

私は橋りょう振動に関するセッションで、コンクリート高架橋の部材振動特性、ならびに長大橋における車両と構造物の動的相互作用についての計2件の発表を行いました。2件とも聴講者に高い関心を持っていただき、活発な議論を行うことができました。

日本における橋りょうの設計や列車の走行安全性の考え方や基準に関する質問が多く、海外(特



ドン・ルイス1世橋を渡るメトロ



筆者の発表風景

渡辺 勉  
鉄道力学研究部  
構造力学研究室  
副主任研究員

にヨーロッパ)と日本の考え方の違いを感じました。

ポルトの街は、メトロ、バス、路面電車と公共交通機関が整備されています。ICカード乗車券(アンダンテカード)を購入・チャージをすれば、どの交通機関にも乗ることができます。空港からポルト中心街への移動、大学とホテルとの移動は、日本と同じような感覚でスムーズに行き来することができました。

正式名称：9<sup>th</sup> International Conference on Structural Dynamics (EURODYN2014)

開催国：ポルトガル(ポルト)

期間：2014/6/30-2014/7/2

主催：European Association for Structural Dynamics

開催頻度：3年毎

次回開催予定：2017年 未定

ホームページURL：http://paginas.fe.up.pt/~eurodyn2014/